

第21回 Tonomachi Cafe

スタートアップベンチャーが語る、 VR 技術から始まる医療の デジタルトランスフォーメーション

開催日 令和元年9月3日(火)

時間 18:00 ~ 20:15 (受付開始 17:40)



©Holoeyes,.inc.

講師 **谷口 直嗣 氏**

Holoeyes 株式会社 CEO 兼 CTO

CG スタジオの R&D 部門を経てフリーランスに、3D プログラミングを軸にコンソールゲーム、インタラクティブ展示、スマートフォンアプリ、ロボットアプリケーション、VR アプリの企画開発を行う。2016 年 10 月に VR/MR を使った医療向けサービスを提供する HoloEyes 株式会社を設立。女子美術大学メディア表現領域にて非常勤講師としてゲームの企画開発の指導も行っている。

参加費

500 円

飲み物付き

企業
紹介 **山口 聡 氏**

株式会社 **ACW-DEEP** 代表取締役

エンターテインメント業界にて 20 年に渡り、映画や CM などの特殊効果製作に携わる。2013 年に株式会社 ACW-DEEP を設立、映画や TV ドラマなどの特殊効果製作を統括してきた。映像製作作業の中で 2016 年より VR の活用について開発を開始、2018 年に映像製作技術に応用した AVR システムを完成。現在、映像製作分野だけでなく、製造業、建築土木業などさまざまな分野で AVR システムの開発・販売を行なっている。

会場 **Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)**

川崎市幸区大宮町 1310 番

ミュージア川崎セントラルタワー 5 階

※JR 川崎駅西口からペDESTリアンデッキで直結

申込先 川崎市臨海部国際戦略本部国際戦略推進部

右の QR コードを読み取り、申し込みフォームにご記入ください



国立研究開発法人科学技術振興機構リサーチコンプレックス推進プログラム

「世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創る Wellbeing Research Campus Tonomachi」

HP: <https://www.tonomachi-wb.jp/>

主催: 慶應義塾大学 (リサーチコンプレックス推進プログラム中核機関)

共催: 川崎市、公益財団法人川崎市産業振興財団

運営事務局: 合同会社ソシオタンク

連絡先: 川崎市臨海部国際戦略本部担当: 苗倉・松井 TEL: 044-276-9216

[メイン講演テーマ]

Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed

Reality 技術を総称して、XR 技術とよばれる技術が最近注目されている。XR 技術はゲームなどのエンターテインメント、建設やデザインの工業の現場などで活用をされているが、見えないものを3次元で見せるという意味においては、医療の世界でも活用が始まっている。Holoeyes では、CT スキャンや MRI のデータから構築された3D データを XR 化するサービスを主に外科、研修、教育、患者とのコミュニケーションの領域で提供している。医療の現場での XR 技術の活用と医療のデジタル化の未来について述べる。

[企業紹介テーマ]

一歩進んだ VR 「AVR システム」 活用のご提案

2016 年に「VR 元年」として始まった VR ブームだが、未だにツールとして十分に活用されていない。その要因として VR 酔いなどの問題点を解決できていないことが挙げられる。弊社が提案する AVR システムはこれらの問題点を解決し、VR をツールとして活用できる画期的なシステム。製造業、建築土木業、医療などさまざまな分野でどのように活用できるか、実例を交えて提案する。

プログラム

17:40 受付開始	18:00 開始	19:30 - 19:45	質疑応答
18:00 - 18:30	企業紹介	19:45 - 20:15	ネットワーキング
18:30 - 19:30	メイン講演	20:15	終了

会場アクセス

